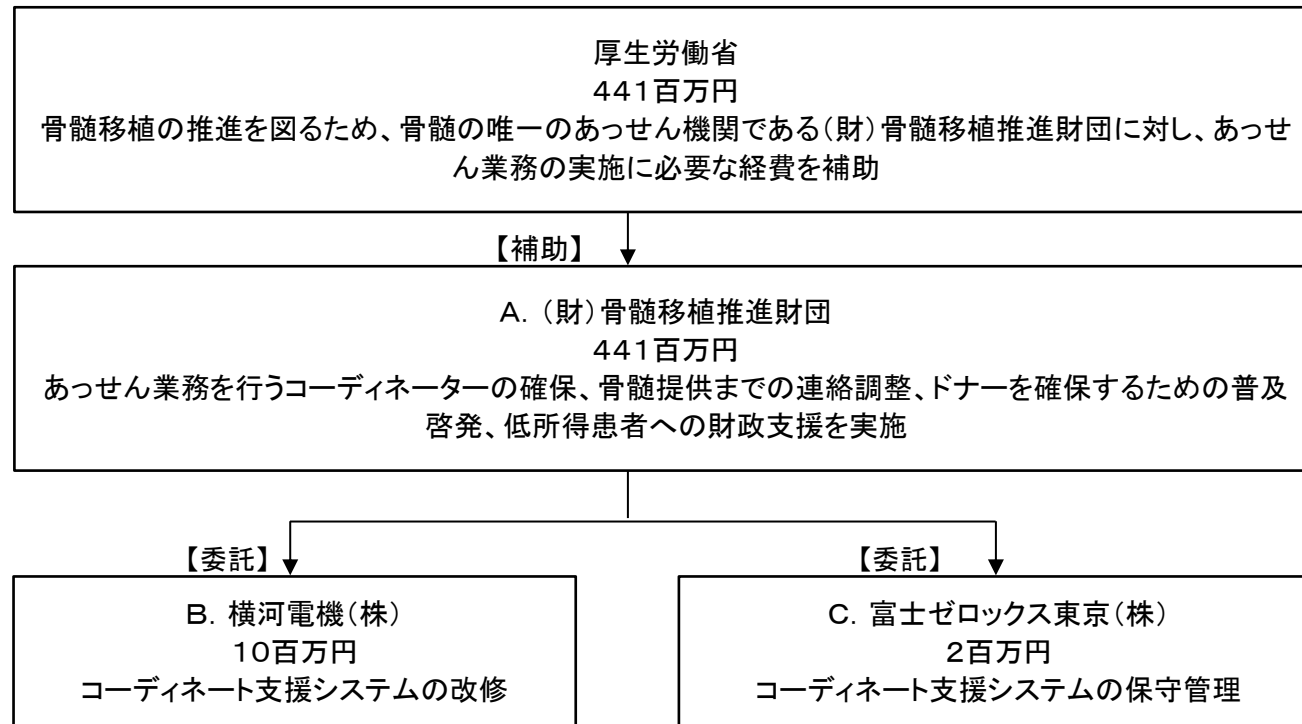


平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)										
事業名		移植対策（造血幹細胞）事業		担当部局庁	健康局		作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度		平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 間 隆一郎			
会計区分		一般会計		施策名	IV-3-1 適切な移植医療を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—		関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・「骨髄データセンター業務の協力依頼について」(平成3年12月2日 健医発第1388号 厚生省保健医療局長通知) ・「平成11年度における臍帯血移植推進事業について」(平成11年6月2日 健医発第841の2号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・さい帯血移植対策事業の実施について					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		①骨髄移植対策事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植を推進するため、骨髄移植のあっせん業務を行う際の連絡調整者(コーディネーター)の確保を図るとともに、骨髄提供希望者(ドナー)を確保するための普及啓発を行い、骨髄バンク事業の安定的な運営を図る。 ②骨髄データバンク登録事業 骨髄移植に必要なドナーのHLA(白血球の型)の検査・登録等に必要な経費を助成することにより、ドナー登録の拡大を図る。 ③さい帯血移植対策事業 白血病等の治療に有効なさい帯血移植を推進するため、安全なさい帯血移植実施体制の整備や、HLAの検査・登録等に必要な経費を助成することにより、さい帯血バンク事業の充実を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		別添1のとおり								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	1,808	1,763	1,733	1,773	1,784		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	1,808	1,763	1,733	1,773	1,784		
		執行額		1,808	1,763	1,733				
		執行率 (%)		100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値
		①骨髄移植ドナー登録者数 ②非血縁者間骨髄移植実施数 ③非血縁者間さい帯血移植実施数			成果実績①	人	335,052	357,378	380,457	前年度以上
					達成度①	%	109.4	106.7	106.5	
					成果実績②	人	1,118	1,232	1,191	前年度以上
					達成度②	%	108.9	110.2	96.7	
					成果実績③	人	875	907	1,072	前年度以上
					達成度③	%	112.5	103.7	118.2	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		①ドナー登録会開催数 ②骨髄ドナー新規登録者数 ③さい帯血新規公開件数			活動実績① (当初見込み)	回	2,189 (前年度以上)	3,299 (前年度以上)	3,895 (前年度以上)	— (前年度以上)
					活動実績② (当初見込み)	人	37,826 (前年度以上)	33,859 (前年度以上)	36,667 (前年度以上)	— (前年度以上)
					活動実績③ (当初見込み)	本	3,410 (前年度以上)	2,666 (前年度以上)	— (前年度以上)	— (前年度以上)
					単位当たりコスト		31,509(円/人)		算出根拠	平成20～22年度の補助金(骨髄移植等事業)の平均 ÷ 平成20～22年度の骨髄ドナー新規登録者の平均 = 単位あたりコスト 1,138,000,000円(平成20年～22年度平均) ÷ 36,117人(平成20年～22年度平均) = 31,509円
平成23・24年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	別添2のとおり									
	計									

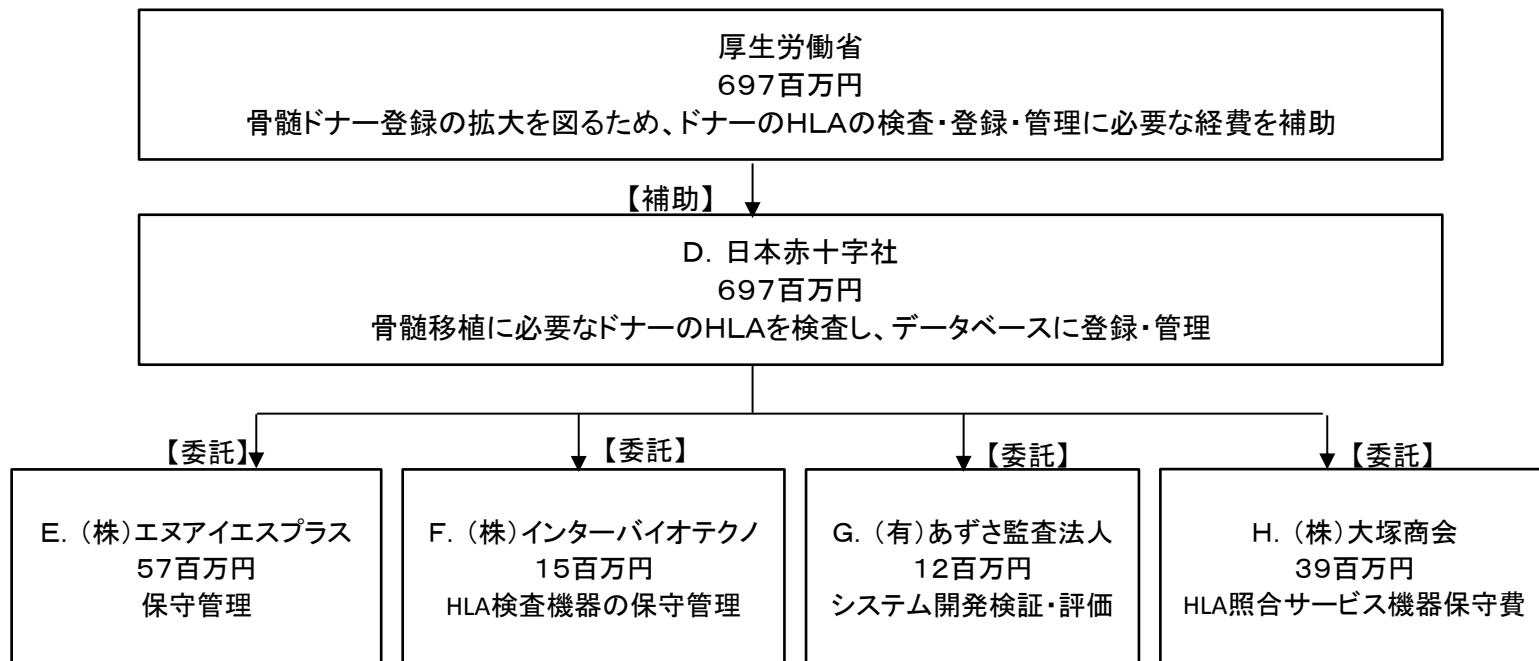
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	骨髄移植等に必要なHLAデータを確実に保存管理するため、当該システムの構築業者との間で保守管理業務契約を締結している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	造血幹細胞移植における事業については、職員及び多数のボランティアなど、全国に蓄積されたノウハウを活用して、公平かつ迅速な事業の推進及び多くのドナー登録者の確保、さい帯血の調整・保存等、効果的かつ効率的に事業を実施している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		骨髄バンクデータ登録事業や骨髄移植対策事業について、移植医療の向上に必要な施策であり、事業内容を検証のうえ必要な予算措置を図ること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

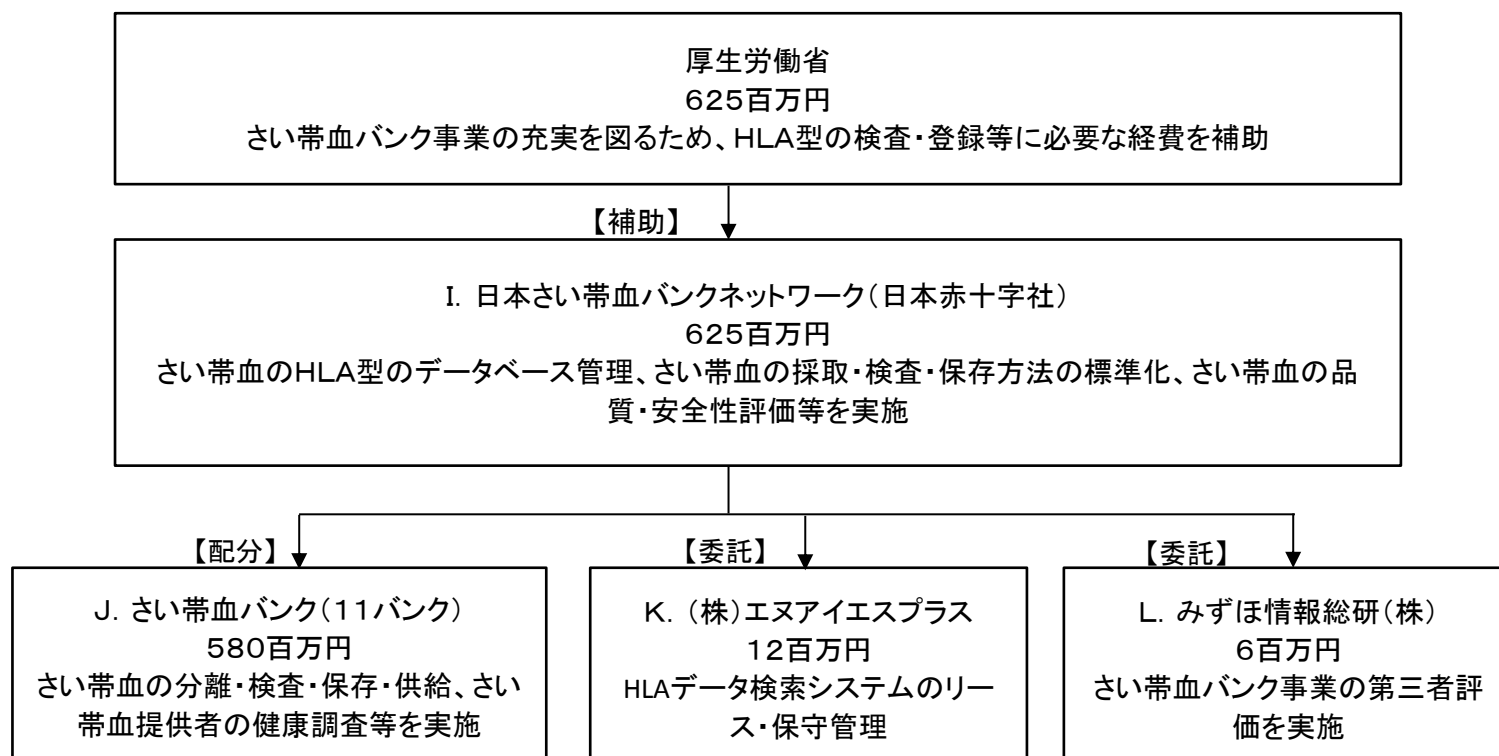
① 骨髄移植対策事業



② 骨髄データバンク登録事業



③ さい帯血移植対策事業



(※金額は21年度実績)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. (財) 骨髓移植推進財団			F. (株) インターバイオテクノ		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	コーディネーター等あっせん業務従事者の給与	159	機器保守費	HLA検査機器の保守管理	15
	賃金	一般コーディネーター賃金	67	計		15
	患者負担金免除費	低所得患者の負担金免除	51	G. (有) あずさ監査法人		
	諸謝金	調整医師・最終同意立会弁護士・研修会講師・説明員への謝金	44	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	コーディネート活動、広報活動、研修会出席	32	システム改修費	登録受付支援タッチパネルの改修	12
	借料	コーディネート支援システムリース料、事務機器リース料、ドナー登録会会場費	31	計		12
	通信運搬費	郵送料、電話代	27	H. 大塚商会(株)		
	委託費	横河電機(株) コーディネート支援システムの改修	10	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	パンフレット、リーフレット、ポスター、広報誌、ドナーへの説明書	8	システム改修費	HLA照合サービス機器保守費	39
	雑役務費	広報資材制作、インターネット業務	8	計		39
	消耗品費	事務用品	1	I. 日本さい帯血バンクネットワーク		
	その他	会議費、データバックアップ保管料	1	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	富士ゼロックス東京(株) コーディネート支援システムの保守管理	2	推進事業費	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分	580
	計		441	人件費	事務職員給与	14
	B. 横河電機(株)			外部委託	(株)エヌアイエスプラス HLAデータ検索システムのリース・保守管理	12
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	旅費	各種委員会の開催	11
	システム費	コーディネート支援システムの改修	10	外部委託	みずほ情報総研(株) さい帯血バンク事業の第三者評価	6
	計		10	印刷製本費	広報誌、リーフレット	2
	C. 富士ゼロックス東京(株)			その他	会議費、消耗品費	2
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	計		625
	システム費	コーディネート支援システムの保守管理	2	J. 東京脐帯血バンク		
	計		2	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	D. 日本赤十字社			人件費	さい帯血管理従事者給与	58
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	検査費	HLA検査費	50
	人件費	検査技師・事務職員給与	244	雑役務費	検査機器の保守点検費	9
	検査費	HLA検査費	169	諸謝金	採取協力費	2
	使用料	HLA検査機器リース料、データバンクシステムリース料	108	旅費	採取施設訪問、採取技術研修出席	2
	委託費	(株)エヌアイエスプラス システム保守管理	57	その他	通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、会議費	2
	委託費	大塚商会 HLA照合サービス機器保守費	39	借料	さい帯血運搬用車両リース料、複写機借料	1
	通信運搬費	郵送料、通信回線費、検体輸送費	22	計		124
	消耗品費	検体バッグ、事務用品	18	K (株) エヌアイエスプラス		
	委託費	(株)インターバイオテクノ HLA検査機器の保守管理	15	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	あずさ監査法人 システム開発検証・評価	12	情報管理費	HLAデータ検索システムのリース・保守管理	12
	旅費	研修会出席、会議出席	4	計		12
	印刷製本費	封筒、台紙	3	L. みずほ情報総研(株)		
	その他	事務用備品	3	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		697	第三者外部評価委託費	さい帯血バンク事業の第三者外部評価の実施	6
	E. (株) エヌアイエスプラス			計		6
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	M.		
	システム改修費	データバンクシステムの改修及び保守管理	57	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		57	計		

支出先上位10者リスト
A. (財) 骨髄移植推進財団

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財) 骨髄移植推進財団	骨髄移植等におけるあっせん業務等	441		
2					
3					

B. 横河電機(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横河電機(株)	コーディネート支援システムの改修	10	随意契約	
2					
3					

C. 富士ゼロックス東京(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス東京(株)	コーディネート支援システムの保守管理	2	随意契約	
2					
3					

D. 日本赤十字社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	HLA検査、HLAデータの管理等	697		
2					
3					

E. (株)エヌアイエスプラス

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	データバンクシステムの改修及び保守管理	57	随意契約	
2					
3					

F. (株)インターバイオテクノ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インターバイオテクノ	HLA検査機器の保守管理	15	随意契約	
2					
3					

G. (有)あずさ監査法人

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)あずさ監査法人	登録受付支援タッチパネルの改修	12	随意契約	
2					
3					

H. 大塚商会(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大塚商会(株)	HLA照合サービス機器保守費	39	随意契約	
2					
3					

I. 日本さい帯血バンクネットワーク

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本さい帯血バンクネットワーク	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分等	625		
2					
3					

J. さい帯血バンク

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京臍帯血バンク	さい帯血の採取、検査、保存等の事業	124		
2	東海大学さい帯血バンク	〃	87		
3	東京都赤十字血液センター	〃	79		
4	京阪さい帯血バンク	〃	73		
5	兵庫さい帯血バンク	〃	58		
6	北海道臍帯血バンク	〃	38		
7	福岡県赤十字血液センター	〃	32		
8	宮城さい帯血バンク	〃	23		
9	中国四国臍帯血バンク	〃	23		
10	東海臍帯血バンク	〃	22		

K. (株)エヌアイエスプラス

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	HLAデータ検索システムのリース・保守管理	12	随意契約	
2					
3					

L. みずほ情報総研(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	さい帯血バンク事業の第三者外部評価の実施	6	随意契約	
2					
3					

【事業概要】

①骨髄移植対策事業

事業概要	1. 骨髄等のあっせんに関する事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植や末梢血幹細胞移植を公平に実施するため、第三者機関である骨髄移植推進財団があっせん機関として骨髄移植等に係る連絡調整を行う(国際的なあっせんを含む)。また、骨髄等提供登録者(ドナー)の登録内容の定期的更新等を行う。 2. 骨髄移植等に係る普及啓発に関する事業 一人でも多くの患者に骨髄移植等の機会を提供できるよう、骨髄等提供希望者を確保するための普及啓発事業、骨髄等提供希望者への説明を行うボランティアに対する研修事業、ドナー登録会の開催及び低所得者の患者負担金免除事業を行う。 補助率:定額(1/2・10/10)
------	---

②骨髄データバンク登録事業

事業概要	白血病等の患者に移植した骨髄がうまく機能するには、骨髄等提供希望者と患者の間でHLA(白血球の型)を一致させる必要がある。 HLAが一致する確率は数百から数万分の1であるため、HLAの適合率を高め、移植の機会を公平に確保するには、広く国民から骨髄等提供希望者を募り、多くのHLAを登録し、患者への骨髄等の提供に結びつける必要がある。このため、本事業では、骨髄等提供希望者のHLAを検査し、データバンクへの登録・管理を行っている。 補助率:定額(10/10)
------	--

③さい帯血移植対策事業

事業概要	さい帯血移植は骨髄移植と同様に、白血病等の重い血液疾患に対して有効な治療法である。本事業では、無償提供されたさい帯血のHLAを検査し、データベースに登録・管理するとともに、さい帯血を-196℃の液体窒素中で凍結保存し、必要とする患者に供給している。 一人でも多くの患者を救うため、より移植に適した細胞数の多いさい帯血を保存しつつ、安全なさい帯血移植実施体制の整備を行っている。 補助率:定額(10/10)
------	--

【実施状況】

①骨髄移植対策事業、②骨髄データバンク登録事業

実施状況	・骨髄バンクのドナー登録者数:380,457人(平成22年度末現在) ・骨髄バンクを介した骨髄移植実施数: 1,191例(平成22年度実績) 12,778例(平成22年度末までの累計)
------	---

③さい帯血移植対策事業

実施状況	・さい帯血公開数:32,994個(平成22年度末現在) ・さい帯血バンクを介したさい帯血移植実施数: 1,072例(平成22年度実績) 7,321例(平成22年度末までの累計)
------	---

平成 23・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
	①骨髄データバンク登録事業	679	665	骨髄等提供者をデータバンクに登録する際のHLA型の検査等に係る経費の減(14百万)
	②さい帯血移植対策事業	642	665	
	(1)さい帯血保存管理業務(あっせん業務)費	613	632	さい帯血の採取・検査等に係る経費の増(19百万)
	(2)さい帯血情報管理経費	28	31	本部事務局経費の増(3百万)
	(3)日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	1	2	
	③骨髄移植対策事業	452	453	
	(1)あっせん業務関係事業費	355	355	
	(2)あっせん事業体制整備費	14	15	
	(3)普及啓発事業費	83	83	
	計	1,773	1,784	